

教育・研究に資する学術交流を国内・海外で積極的に推進

国内では、平成 12(2000)年に玉川大学と「教育・学術協定」を、同 15(2003)年には先進医療を提供する聖マリアンナ医科大学と「教育・研究の交流に関する協定」を結び、相互の教員による授業をはじめ、共同研究やシンポジウムなどを開催している。

一方、海外では平成 7(1995)年、フィジー医科大学と、同 13(2001)年、ネパールのポカラ大学と学術交流に関する協定を結び、天然薬物資源の有効活用に関する共同研究などを行っている。

平成 17(2005)年に学術協定を結んだ南カリフォルニア大学(University of Southern California)は、6 年制薬学教育先進国の米国で、初めて臨床薬学プログラムを導入した名門校である。本学は同大学・薬学部で、日米の医療の違いや米国の医療の実情を学ぶ、約 2 週間の臨床薬学研修を実施（希望者のみ）している。

本学の学術交流について <http://www.shoyaku.ac.jp/about/exchange/index.html>

玉川大学 <http://www.shoyaku.ac.jp/about/exchange/tamagawa.html>

聖マリアンナ医科大学 <http://www.shoyaku.ac.jp/about/exchange/marianna.html>

ポカラ大学 <http://www.shoyaku.ac.jp/about/exchange/pokhara.html>

南カリフォルニア大学薬学部 <http://www.shoyaku.ac.jp/about/exchange/california.html>